

2026年9月29日

新型 Audi RS 5 / RS 5 Avant を発表： スポーティさと日常の快適性を高次元で両立した ハイパフォーマンスなプラグインハイブリッド

- Audi Sport 史上初のハイパフォーマンス プラグインハイブリッド：システム最高出力 470kW (639PS)、最大トルク 825Nm を発生し、0-100km/h 加速 3.6 秒を実現
- EV 走行換算距離は最長 85km。最高レベルのスポーティさと日常での快適性を両立
- 市販モデルで世界初搭載のエレクトロメカニカルトルクベクタリングをリヤアクスルに備え、新開発 quattro 四輪駆動システムが、ハンドリング性能を新たな次元へと引き上げる
- ワイド化されたボディとダークハウジングのマトリクス LED ヘッドライトにより、ひと目で RS とわかる存在感を放つ

アウディ ジャパン（東京都品川区、ブランド ディレクター：ウルフ ディルクスマン）は、プレミアム ミッドサイズセグメントである Audi A5 モデルに、ハイパフォーマンスプラグインハイブリッドモデルである Audi RS 5 とそのステーションワゴンタイプの Audi RS 5 Avant を導入することを発表します。本日より受注を開始し、10 月 20 日より全国のアウディ正規ディーラー（127 店舗、現時点）を通じて発売します。

新型 Audi RS 5 / RS 5 Avant は、これまで RS モデルが培ってきたハイパフォーマンスに、高性能で高機能な電動化テクノロジーを融合させた、Audi Sport 史上初のプラグインハイブリッドモデル（PHEV）です。改良されたツインターボの 2.9 リッターV 型 6 気筒 TFSI エンジンと高出力モーターを組み合わせることで、システム最高出力 470kW (639PS)、最大トルク 825Nm を発生します。0 から 100km/h までの加速はわずか 3.6 秒で、最高速度はオプション装着時で 285km/h を達成します（標準で 270km/h のリミッターを装備）。EV 走行換算距離は最長で 85km で、本格的なパフォーマンスと日常の使い勝手のよさを高い次元で両立させています。リヤアクスルには市販モデル世界初となるエレクトロメカニカルトルクベクタリングを備えた新開発の quattro 四輪駆動システムを搭載し、あらゆる速度域で俊敏かつ安定した走りを可能にしています。

新型 Audi RS 5 / RS 5 Avant には、改良されたツインターボの 2.9 リッターV 型 6 気筒 TFSI エンジンと、最高出力 130kW (177PS) のモーターを搭載しています。エンジンには VTG（可変ジオメトリタービン）を採用し、最高出力 375kW (510PS)、最大トルク 600Nm を発生します。モーターはトランスミッション手前に搭載され、最大トルク 460Nm を発生します。これらの組み合わせで、システム全体の最高出力は 470kW (639PS)、最大トルクは 825Nm を実現しています。25.9kWh（ネット値 22kWh）のリチウムイオンバッテリーを搭載し、EV モードでの最高速度は 140km/h、EV 走行換算距離は Audi RS 5 で 85km、Audi RS 5 Avant で 83km です。充電は普通充電のみに対応し、標準で 3kW の充電ケーブルを装備します。別売りの e-tron Charging Kit Plus（8kW 充電器）を接続した場合は、最大 8kW*1 での充電が可能です。

モータースポーツレベルのパフォーマンスを実現する新技術

新型 Audi RS 5 / RS 5 Avant の quattro 四輪駆動システムには、新開発のプリロード付センターディファレンシャルを、Audi Sport で初めて採用しています。ディファレンシャルに駆動トルクがかかかっていない状況でも前後アクスルの結合状態を保持することでトラクション性能を維持します。この機能は、例えばドライバーがコーナリング時にアクセルを離したときなどにその効果が実感でき、アンダーステアを抑えてターンインをサポートします。

リヤには市販モデルで世界初となるエレクトロメカニカルトルクベクタリングを採用した、新開発のダイナミックトルクコントロール quattro を搭載しました。アクセルのオン・オフに関係なく後輪左右のトルク差を最大 2,000Nm まで瞬時に生み出すことで、走行中のあらゆるシチュエーションでヨーモーメントを制御し、コーナリングパフォーマンスを高めます。

エレクトロメカニカルトルクベクタリングを構成する 400V 水冷式永久磁石電動モーターは、出力 8kW、40Nm の高電圧アクチュエーターとして、瞬きの約 10 分の 1 の速さ、わずか 15 ミリ秒で反応し、アクセルオフの状態でも自らトルクを生成します。左右輪の間で駆動力をダイレクトに転送・最適化することで、車速を保ったまま旋回性能と安定性を両立させます。これにより、オーバーステア方向のリカバリー性能とアンダーステア方向の回頭性能の限界値は高まり、思考と挙動が直結したかのような、新しいハンドリング感覚をもたらします。

従来のアウディスポーツディファレンシャルは、車輪のスリップを検知してから対処する受動的な制御でしたが、新開発のエレクトロメカニカルトルクベクタリングは、ステアリング角、アクセル開度、ブレーキ圧などのドライバーの操作に加え、縦および横方向の G、ヨーレート、スリップ角、速度、路面の推定摩擦係数といった車両の状態を継続的に統合解析し、能動的に予測する制御に進化しています。この制御を実現するのは、ドライビングダイナミクスコントローラー（HCP1）で、与えられた走行状況に対するターゲットディファレンシャルトルクを、周波数 200Hz、つまり 5 ミリ秒ごとに算出します。そしてエレクトロメカニカルトルクベクタリングは、この高頻度で更新される制御値を基に、ドライバーの意図と挙動の予兆を先読みして、極めてダイナミックかつ精密なトルク配分を実現し、車輪が滑り出す前に介入する能動的な制御を可能にします。

サスペンションには、従来の DRC サスペンションに代わり、ツインバルブ式ショックアブソーバーを備えた RS スポーツサスペンションを標準装備します。縮み側だけでなく伸び側の減衰力を電子制御で瞬時にコントロールすることで、ピッチとロールを抑制します。また、アウディのこのセグメントのモデルとしては初めて、リヤにもセラミックディスクブレーキをオプション設定²しました。

デザインとパフォーマンスを妥協なく融合したエクステリア、インテリア

新型 Audi RS 5 / RS 5 Avant のエクステリアは、伝説的な Audi Ur-quattro（初代 quattro）の血統を感じさせるダイナミックなデザインが特徴です。ベースモデルの Audi A5 から前後ともに左右各 45mm ずつ拡張されたワイドボディとダークハウジングのマトリクス LED ヘッドライトにより、ひと目で RS モデルとわかる存在感を放ちます。サイドビューでは大きく張り出したプリスターフェンダーが力強さを強調しています。

フロントでは、立体的なハニカム構造のシングルフレームグリルを中心に、ダークトーンのマスクがエアカーテンと一体的につながることで、デザインと空力性能の両立を図っています。また、フロントフェンダー後方に設けられたエアベントが、高い空力性能と精悍な外観を両立しています。リヤセクションには、空力を考慮した垂直フィン付きディフューザーを備え、その中央に配置された縦型の赤色リフレクターがモータースポーツモデルを想起させます。ドライビングモードに応じてサウンドが変化する、左右に振り分けられたダーククロームのオーバルテールパイプも存在感を放ちます。レーシングモデル Audi Sport quattro S1 や Audi S1 e-tron quattro Hoonitron のデザイン要素を取り入れて、Audi のモータースポーツヘリテージと機能美が凝縮された迫力あるスタイルへと昇華されています。

新型 Audi RS 5 のインテリアは、スポーツ走行を前提とした機能性と、日常での快適性を両立させています。ハニカムキルティングを施した S スポーツシートは、強い横方向サポートを確保しながらも、電動調整機能やマッサージ機能が備わり、長距離移動時の快適性にも配慮しています。標準仕様としてレザーフリー素材を採用しており、布や再生ポリエステルから製造されたカスケードクロスや、マイクロ

ファイバーのダイナミカを、シートだけでなくインストルメントパネルやアームレスト、ドアトリムなどにも広範囲に使用して、スポーティかつラグジュアリーでありながらサステイナブルな仕様に仕上がっています。オプションの RS デザインパッケージ（レッド、レッドプラス、グレー、サーペントイングリーン）では、コントラストステッチによる視覚的なアクセントが加えられた、ファインナッパレザー仕様の S スポーツシートも選ぶことも可能で、ヘッドレストスピーカーとシートベンチレーション・マッサージ機能が付きます。いずれの仕様でもブラックのヘッドライニングが採用され、室内の統一感が保たれています。

インテリアの各部にはダークメタリックバナジウム仕上げの装飾が施され、シフトパドルやエアベント、ドアハンドルなどに統一感を持たせています。デコラティブインレイは、カーボンやアルミニウムなど複数の素材をオプション設定したことにより、仕様に応じた質感の違いを演出します。このように、RS 専用のテクスチャーを採用したラップアラウンドインテリアエレメントを施された、従来の RS モデル以上にパーソナライズが可能になっています。

フラットトップ／フラットボトム形状の RS ステアリングホイールはダイナミカ仕立てで、12 時位置のマーカーやロワースポークのレッドアクセントにより、視覚的にも操舵ポジションが把握しやすいデザインとなっています。また、ステアリングには RS サテライトコントロールが組み込まれ、ドライブモードの切り替えやブースト機能の操作を手元で行えます。オプションの RS デザインパッケージ（レッド、グレー）を選択することで、パンチング加工を施したナッパレザーの選択も可能です。

RS 5 / RS 5 Avant の MMI パノラマディスプレイでは、11.9 インチスクリーンのバーチャルコックピットプラスに RS 専用デザインが施され、回転数や車速に加えてシフトライトを表示するほか、G フォース、ラップタイムなどの走行データにもアクセスできます。これらの情報はフロントウィンドウ上のヘッドアップディスプレイに投影され、シフトタイミングの把握にも貢献します。

RS モデル：モータースポーツの DNA を受け継ぐ Audi Sport GmbH が開発する高性能モデル

RS モデルのサクセスストーリーは、1994 年に初の RS モデル Audi RS2 Avant がデビューしたときから始まりました。現在 RS モデルの開発は、Audi Sport GmbH（旧 quattro GmbH）が担い、ルマン 24 時間耐久レース、DTM（ドイツツーリングカー選手権）など、アウディがこれまで実績を残してきたモータースポーツで培ったノウハウを生かして、高性能かつ日常での高い実用性を備えた、スポーティなモデルを作り出しています。RS モデルは、Audi RS 5、Audi RS 3、Audi RS Q8、電気自動車 e-tron のフラッグシップモデルである Audi RS e-tron GT performance をラインアップに揃え、セダンやクーペ、Sportback、SUV など、さまざまなボディタイプへと展開してきました。

*1 理論値

*2 オプションの 21 インチホイール同時選択必須

モデル	エンジン + モーター システム最高出力/ システム最大トルク	トランス ミッション	バッテリー 総電力量	駆動 方式	ステア リング	希望小売価格 (税込)
Audi RS 5	2.9ℓ V6 TFSI ツインターボ + モーター 470kW(639PS)/825Nm	8 速ティ トロニック	25.9kWh	quattro	右	15,500,000 円
Audi RS 5 Avant	2.9ℓ V6 TFSI ツインターボ + モーター 470kW(639PS)/825Nm	8 速ティ トロニック	25.9kWh	quattro	右	15,750,000 円

フォルクスワーゲン グループ ジャパン株式会社
アウディ ジャパン 広報部

報道関係者お問い合わせ：
<https://audi-press.jp/contact/>

アウディ ジャパン プレスサイト
<http://www.audi-press.jp/>

お客様問い合わせ：
アウディ コミュニケーション センター
0120-598106



アウディについて

アウディは、インテリジェントで電動化された製品を通じて変革を推進し、未来のモビリティを創造しています。このプレミアム自動車ブランドは、世界 100 以上の市場で展開されています。そのグローバルな生産ネットワークは 12 カ国 21 拠点に及び、8 万 8,000 人以上の従業員が *Vorsprung durch Technik*（技術による先進）の精神のもと結束し、勇気、情熱、責任、そして信頼により、100 年以上にわたる自動車製造の伝統を未来に向けて再解釈しています。2026 年、アウディはモータースポーツの DNA を大胆に体現すべく、ファクトリーチームとして Formula 1 に参入します。また、アウディ グループには、スーパーカーメーカーのランボルギーニ、ラグジュアリーブランドのベントレー モーターズ、そしてモーターサイクルメーカーのドゥカティが含まれます。

アウディ グループの詳細については、[こちら](#)をご覧ください。
